

12月歩く会

横浜バス旅行

2023年12月10日(日)の歩く会は横浜を旅行しました。参加者35名、内一人は堀さんのお孫さん(小学生)です。朝7:00 倶楽部出発、10:00に最初の訪問地・桜木町に到着。横浜港を空から一望出来るエアーカービン(ロープウェイ)に乗車、これは2021年4月開業の新しい乗り物です。次の訪問地は旧三菱造船・ドックヤード跡地の「横浜みなと博物館」と、隣接する「帆船日本丸」。日本丸は1930年建造、1984年引退後はこの地に永久係留保存されて居る国の重要文化財。ひと月に一度の割合で「総帆展帆(マストに帆を張る)」を行うとの事です。

昼食は横浜中華街へ移動し、「秀味園」(予約済)で。12月の日曜日、中華街は他人の肩が触れ合う程の混雑ぶりで、予約無しでは食事出来ません。食後は皆さんに配布した中華街地図を頼りにフリータイム・ショッピング。「関帝廟」や「媽祖廟」等の名所を訪れた方も居ました。時間がタイトだった為、山下公園散策や旧イギリス領事館訪問は取りめ、16:00 中華街駐車場を出発、予定19:00に倶楽部帰着。暖かく晴天に恵まれた晩秋の楽しい旅行でした。(村田豊樹 記)



「空と、雲と、桐生倶楽部」

桐生市立梅田中学校3年 新倉詩葉

これは絹拵記念館で開催された第8回「伝統ある街・桐生」絵画コンクールに出品された作品です。新倉さんのこの絵は中学生の部の金賞に輝きました。昨年11月に同館で開催された展示の最後に飾られていたこの絵



には、颯爽と立つ倶楽部会館の上に大空と沸き立つ雲が描かれていて、その醸し出す詩情に思わず見とれてしまいました。同館の三井雅彦館長さんに取り次いでいただいたおかげで、新倉さんから絵の貸し出しが快諾され、倶楽部1階ロビーでの展示の運びとなりました。

クリスマス会や新年互例会の折りにご覧になった社員も多くおられるかと思います。その後、ご本人とご両親が倶楽部にこられ、坪井理事長としばし懇談して会館を見学されました。

詩葉さんのお兄さんが、2020年12月の桐生倶楽部会館創建100年記念企画「桐高・桐女美術部合同展」に桐生高校の美術部部長として参加していたことから、詩葉さんも倶楽部で開催された展覧会に足を運び、桐生倶楽部に親しみを持っていたとのこと。このことが倶楽部会館をモチーフにした作品を生み出すきっかけになったとお話されていました。

絵画コンクールでは新倉さん以外にも数名の小学生が倶楽部を描いていましたが、どの絵も会館の魅力をうまくとらえ